

令和2年度第13回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年12月18日（金）午後4時00分～午後6時03分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志
職務代理者 五十嵐 紀 子 合宿の里統括監 三 上 正 洋
委員 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 社会教育課長 武 山 鉄 也
委員 山 田 敦 久 中央公民館長 千 葉 真 奈 美
博物館長 水 田 一 彦
地域住民課長 庄 司 伸 一

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

○中峰教育長

本日は足元の悪い中お集まりいただいた。

日向スキー場については、昨年より遅いオープンとなったが、雪質は良く順調に営業している。

午前中には市議会第4回定例会の議案審議が行われ、補正予算や職員の給与条例、非常勤特別職の報酬を定めた条例の改正案などが可決された。一般質問では5人の議員からコロナ関連の質問があったほか、財政健全化実行計画について多くの質問がされた。議員からは「市の財政状況が急に悪化したのか」との質問や「健全化計画策定の前に財政状況を理解してもらう機会が必要だったのではないか」との指摘があったところ。職員の賃金や管理職手当も3年間に亘り削減される予定だが、一方、若い職員は給与が生活に直結しているなどの状況もある。議員から、「議会としてチェックしきれなかったことは反省すべき点」との発言があったなかで、市長から「私の不徳の致すところである」との発言があった。

また、中央公民館前に設置されていた「双馬像」を、なぜ博物館に移設したのかとの質問もあった。「庁舎建て替えの際に移設する必要があるが、像の痛みが激しいため博物館内に設置した」との答弁に対して「館内は像を展示するには狭く、再検討すべき」との発言があった。

新型コロナウイルス感染症に関わっては、延期していた士別小学校の修学旅行が12月3日から4日にかけて実施された。今日でちょうど2週間が経過し、無事に終了したことに安堵している。これで東高校以外の学校は修学旅行を終えることができた。一方で、成人式の開催についてはギリギリまで調整を行ったが、北海道の集中対策期間の再々延長やGoTo事業の凍結、さらに「晴れ着の着付けを行う際のお手伝いは高齢の方が多く、密を回避できない」ことへの不安の声もあり、やむなく延期を決定した。5月に開催する予定であり、新成人が晴れの日を迎えられるよう準備していきたい。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第26号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○水田館長

12月8日に博物館の煙突が傾いてしまい、煙がきちんと排出されない状況である。10年前に一度

修理しているが、腐食している状態だったため、補正予算を要求し修理したい。本日、議決をいただいたので早速発注し、1月9日には完了する見込みである。各学校には臨時休館する旨を周知するが、要望があれば柔軟に対応したいと考えている。出前講座なども実施したい。

○五十嵐職務代理者

補正予算の金額は煙突部分の修理費だけなのか。

○中峰教育長

外に露出している部分だけを修理する。今回の修理で、煙突の長さを短くすることにより荷重が減るため、多少耐久性が向上するものと期待している。

○中峰教育長

議案第27号 社会教育施設等の開館時間について説明を求める。

○武山課長

前回の会議では「部の運営方針」の中で社会教育施設の開閉館の見直しについて協議中であることを説明した。来年度から別紙資料のとおり開館時間や休館日を変更すべく検討している。

○千葉館長

文化センターは、土日、祝日の閉館時間を17時に早めることを検討している。ただし、ホールで公演を行った場合に、楽屋などを片付ける時間については別に考える。

○水田館長

博物館では冬期間の臨時休館を検討している。まずは来月から試行してみる予定である。

○鴻野部長

朝日の「知恵の蔵」で収蔵している物品について、博物館が協力し共同で整理できないか検討している。

○三上統括監

体育施設については、老人クラブ連合会がゲートボールを行っているスポーツ交流館の午前中の開館時間帯の変更や、プール利用者が少ない午前中などは、営業時間の見直しを検討している。

○中峰教育長

開館時間の変更については、12月24日に開催する社会教育委員の会議や、22日に開催する図書館協議会などの附属委員会等で説明する。本日の会議でお諮りし、最終的には次年度予算に反映させるため、あまり時間の猶予はない。

○五十嵐職務代理者

文化センターのホールを使用した公演では、一日中使用することもあるので、どうするのか気になっていたが、説明を聞いて理解した。

○山田委員

開館時間を圧縮するとの考え方だが、時間を削るということは質の低下につながる。そうならないよう努力し、積み重ねていかなければ意味がなくなってしまう。内容が変わってしまうのは怖い。

○中峰教育長

どれだけ質を下げずに続けられるのか、利用の実態について確認しなければならない。施設を維持していくための方策を考える。スポーツ施設についても利用団体の調整ができればと思う。全市的な状況でどう考えるのか。切り口を変えて工夫する視点が必要である。

○五十嵐職務代理者

博物館や図書館は、市内在住者だけが利用する施設ではなく、市外の方が訪れる場合もある。そういった利用者に対してアピールすることも重要である。

○山田委員

施設の利用率がそれほど高くないとしても、マチの質を表す施設として見られることもある。歴史の大切さを再認識し、忘れないためにも市民に対しPRすべき。文科系施設は心の拠り所でもあり、まちのレベルを示すものでもあり、その面での理解が必要。

○中峰教育長

医療や福祉と比べられると、文化・スポーツ系の教育委員会所管施設は、その優先度が低くなりがちだが、必要不可欠なもの。文化水準を見られることにもなるため、対外的なアピール度もある。博物館は、みよし市や川内村などから交流で訪れた人たちに、まず最初に士別を知ってもらうには最適で必要な施設である。コロナ禍の今年は特に、道外や市外から博物館を訪れる人が多かった。

○水田館長

入館者の内訳は、市内が2割、道内が7割、道外が1割である。

○中峰教育長

道内には通年開館していない施設も多数ある。事前に予約を受け付けた場合は開館することなども含めて検討している。

○五十嵐職務代理者

電話で予約ができるなど、周知の方法も考えるべき。

○山田委員

格調高い存在としてPRできると良い。

○加藤委員

施設の開館時間が短くなった場合、光熱費のほか、清掃や警備の委託費なども減少するということが。

○中峰教育長

そのとおり。施設をグループ分けして業務を委託することが検討されている。

○千葉館長

文化センターの清掃業務は新庁舎と一体の契約になる予定である。

○加藤委員

事業者への影響は大きい。市の財政が厳しくなり委託料が下がると、企業の収入が減り、市に収める税額が下がってしまう。負のジレンマに陥ってしまう。除雪など、まとめることによって安く委託できるものもある。質の低下につながらないようにしてもらいたい。博物館に市外の人が訪れていることは嬉しいことである。自分も音威子府村の施設を訪れた際に、駐車場に停まっている車のナンバーを見て驚いたことがあった。

○馬場委員

博物館では、入館料を払った人数を利用者としてカウントしているのか。また、生涯学習情報センターの開館時間が遅くなった場合、図書館の職員も出勤時間を遅らせるのか。

○水田館長

料金が免除される場合も含めて、実際に入館したすべての人数をカウントしている。

○武山課長

図書館職員は9時15分に出勤する予定で検討しているとのことである。

○中峰教育長

今後、附属委員会等でご意見を伺い、利用状況をリサーチしながらさらに検討を進める。今回の提案からさらに変更する場合には、改めてお知らせする。

○中峰教育長

議案第28号 令和3年度士別市教育委員会政策予算(案)について説明を求める。

○鴻野部長

項目のボリュームがあるので、大きく変更したものや特徴的なものについて、各担当から説明する。
(別紙資料に基づき各担当から説明)

○中峰教育長

学校教育の遠距離等通学助成事業費で説明があった内容については、現在、バスの定期券を補助している路線について、スクールバス化するという意味であり、一般混乗で運行する予定である。また、児童生徒芸術鑑賞事業については学習振興費に統合している。

○五十嵐職務代理者

今日、東高校の収穫祭があり、学校を訪問した際に体育館の屋根から氷が落下し、窓ガラスが割れてしまった。例年は談話室で収穫祭を行っているが、今年は体育館での開催だった。体育館が暖まり一気に落下したようだ。

○山田委員

チャレンジスクールの定員を減らした理由はなぜか。

○武山課長

朝日の山村研修施設を使用して開催しているところであり、子どもの交流を促すため定員を30人にしていたが、一般の施設利用者もおり、子どもたちの身体的距離を保つために減らすこととした。また、実行委員や学生ボランティアにも運営に協力いただいているところだが、コロナの影響で大学生の参画も厳しいことが想定されるため、定員を見直した。

○中峰教育長

定員を超える参加申し込みがあった場合の対応は。

○武山課長

柔軟に検討したい。

○五十嵐職務代理者

定員を超えて申込があったことはあるのか。

○武山課長

以前には、35人くらいで実施したことがある。

○中峰教育長

参加児童の口コミによって新たな参加者につながったケースが多い。1回あたり20人を超えることもありうると思う。

○武山課長

子どもたち4~5人につき1人の大人が指導につくので、大学生の協力がないと運営は厳しい。

○山田委員

参加している子どもたちが楽しそうだった。参加できなくなる子どもがいるとかわいそう。

○五十嵐職務代理者

高齢者学習機会推進事業について、九十九大学のあり方はどう考えているか。

○千葉館長

いきいき健康センターができてから、高齢者のニーズが変化してきたように感じている。それぞれ、目的と実施内容が異なるので、両方を維持してきたが、大学という形が今の時代に合っているのか検討が必要と考えている。以前は大学への憧れもあり、学習のカリキュラムを作成してきたが、今は仲間づくりが主になっている。入学者も以前は30~40人ほどいたが、今では数名にとどまっている。

○五十嵐職務代理者

大学を廃止する考えは。

○中峰教育長

次年度は募集しない考えである。詳しいことは次回の会議で説明したい。大学院の方もどうするか検討中である。従来の大学としての形と新たな学びの機会の2つの形態で進めることになり、過渡期であると考えている。

○五十嵐職務代理者

以前は、農村部を中心にリタイアした人が多く入学した時期があった。自分の地区以外の人との仲間づくりの場となっていたが、今は別の形で仲間づくりができています。以前の入学者は生き生きしていたという話を聞いた。名前も硬い印象がある。改革が必要な時なのかもしれない。

○中峰教育長

個別に呼びかけても、数名の状況でもある。以前とは異なり、今は実際の大学生活を経験した人も多い。学びの機会を提供するとともに、大学の自治会については、現学生による主体的な検討が必要である。近年の傾向をみると、九十九大学の大学生の多くに大学院に進みたいとの希望があるようだ。

政策予算については、スクラップアンドビルドの考え方が基本にあり、新しい事業を行う場合は他の事業を廃止することを検討しなければならない。障がい者スポーツ大会についてはイベントを開催するのみであり、北海道からの依頼を受けて実施するものである。別冊の経常予算（案）についても詳細に説明すべきところだが、後ほどご覧いただき、ご意見等があれば別の機会に伺いたい。

本年度の成人式を来年の5月に延期する予定だが、予算はどのように執行することになるのか説明を。

○武山課長

予算の繰越しで対応するか否かについて、財政課と協議しているところ。すでに本年度予算の一部は執行している。

○中峰教育長

政策予算は12月14日が財政課締切のため、一旦は提出しており、年明け早々に市長査定を行うことになる。

前回の総合教育会議の際に財政健全化実行計画について説明があったが、改めて総合教育会議を開催する必要があるれば、予算案の計数整理までには開催したいと考えているので、よろしくお願いしたい。

2 その他について

(1) 当面する今後の日程

鴻野部長説明

○中峰教育長

12月23日は午前中に東高校の発表会、午後からは子ども議会を予定しているので、よろしくお願いしたい。

○五十嵐職務代理者

成人式の具体的な日程はいつか。名寄市では5月4日に開催するとの報道があった。

○中峰教育長

まだ決定していない。5月2日の日曜日を想定しているが、いつが良いか検討中である。

1月20日に開催予定の九十九大学理事長講話も延期になるかもしれない。

○武山課長

前回の会議で質問があった「図書館の蔵書リクエスト」についてお答えする。令和元年度は435件

のリクエストがあったが、このうち162件は図書を購入し、残る273件は道内及び管内の図書館から借受して対応したとのことであった。なお、リクエストに応えられないケースとしては、シリーズものや全集、個人の趣味によるもの、すでに販売していないもの、著しく高価なものなどである。

○中峰教育長

購入か借受のどちらかでは、必ず対応していることになる。

○五十嵐職務代理者

名寄市の知人が「鳥」と「きのこ」に関する本を名寄の図書館でリクエストしたら、士別の図書館の蔵書が届いたと聞いた。

○水田館長

司書が行っている選書は、どうしても文学に偏りがちになる傾向がある。自然科学などのジャンルは不足していることが多い。

○中峰教育長

例えば士別では特定のジャンルを充実させて、定住自立圏全体で広域的に図書を整備するというのも一つのアイデアである。これまでもソロプチミスト様から図書を寄贈いただいているが、今年度は野田組様からも寄贈いただいた。本市の図書館は、英語の絵本や大型の絵本なども充実している。

○加藤委員

国がコロナ対策のため補正した予算が、違う目的で使用されているとの報道があった。

○中峰教育長

コロナに関連する理由がつかなければ使用できない。本市では内容を精査し、適正と判断される範囲で執行しているが、国や会計検査院の考え方によっては認められないケースも起こりうるかもしれない。

○加藤委員

他市に通学している子どもが、コロナに関わって誹謗や中傷を受けた例があると聞いた。

○中峰教育長

差別や偏見、誹謗中傷を生じさせないように、本日、士別市議会でも決議がなされた。このほか、市として、差別禁止宣言を発する予定。校長会なども通じて、各学校での対応も指示する考えである。

今年是一年の労をねぎらう機会もなく残念であるが、コロナウイルスの収束に向け、引き続きできる限りの対策に努めていきたい。

午後6時03分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章